

平成31年度（令和元年度）

公益財団法人新宮町文化振興財団 事業報告書

第 19 期

自 2019 年 4月 1日
至 2020 年 3月31日

公益財団法人新宮町文化振興財団

文化振興事業について

平成31年度（令和元年度）公益財団法人新宮町文化振興財団事業概要

本財団設立趣旨に基づき、新宮町の芸術文化の普及振興及び芸術・文化活動の活性化促進を図るため、幅広い分野で事業を推進いたしました。

鑑賞型事業においては、「古澤巖ヴァイオリンの夜」をはじめ、音楽、演劇、伝統芸能といった各ジャンルから計4公演を実施。このうち3公演でチケット完売となりました。

また、地域住民参加型公演としてオリジナルミュージカルの創作、上演に取り組みました。相島を含む新宮町内全ての小中学校（小学校5校、中学校2校）から参加いただくなど、小学3年生からご年配の方まで39名が参加。稽古の間には、他校の児童・生徒、小学生と高校生、子供たちと大人たちなど、普段は交流のない地域住民同士が、ダンスの振付や役づくり等について自主的に稽古し、助け合う姿が見られるなど、非常に有意義な取り組みとなりました。本事業は、一般財団法人自治総合センターによる平成31年度地域の芸術環境づくり支援事業として実施しました。

例年好評をいただいております、小さな子供たちに芸術文化を体験していただく「おでかけそぴあシリーズ」を3回実施。また、地域の皆様に様々な学びを体験していただく「そぴあスポット講座」を計24講座開講。延べ356名にご参加いただきました。

今後も一流の文化芸術公演の鑑賞機会を提供しながら、新宮町の様々な魅力に触れていただいたり、世代間交流につながるような参加・育成型事業をはじめ、地域の皆様の学ぶ意欲にお応えするような事業にも積極的に取り組むことで、地域における文化芸術の普及振興を図り、活力のあるまちづくりに寄与してまいります。

事業報告については、事業分野に沿って以下のとおりです。

（1）芸術・文化の普及及び振興

音楽2、演劇1、伝統芸能1の計4事業を実施。総(延べ)入場者数は2,217名でした。

このうち演劇事業については、劇場・音楽堂等間ネットワーク強化事業助成事業として実施。参加団体（館）は、能登演劇堂、兵庫県立芸術文化センター、島根県芸術文化センターおよび当財団の4団体。

その他、事業毎の詳細については別紙にて報告。

（2）地域住民の芸術文化活動の活性化促進

未就学児を対象とした「おでかけそぴあシリーズ」を3回開催。吹奏楽コンサートや映画上映会などをプログラムした「そぴあマルシェ」を2年ぶりに（前年度は台風の影響で中止のため）開催。

その他、事業毎の詳細については別紙にて報告。

(3) 学習活動の機会提供

地域住民参加型公演としてオリジナルミュージカル『暁のランナー』を創作、上演。
また、「そびあスポット講座」を夏12講座と冬12講座、計24講座開講。

(4) その他目的を達成するために必要な事業

情報誌「そびあまがじん」を年4回発行。広告枠を設け、一定の収入を獲得しています。
アクティブ新宮にて町内へ全戸配布。

友の会「Club Sopia」へは430名の入会がありました。

新宮町からの受託事業として「新宮町平和祈念映画会」を開催。